

2013年7月22日

報道関係者各位

抗腫瘍効果を高める「樹状細胞の活性化処理方法」に関する特許が日本で成立

株式会社メディネットは、樹状細胞(DC:Dendritic Cell)を用いてCTL(細胞傷害性T細胞)^{※1}の誘導を高める処理方法に関して、既に欧州11カ国およびオーストラリアで特許が成立しておりますが、この度、日本においても特許が成立いたしましたので、お知らせします。

今回成立した「ビスホスホネートと抗原で樹状細胞を共感作する処理方法」は、当社が既に提供している樹状細胞ワクチン技術の処理方法で、従来の方法に比べ、CTLの誘導を最大で100倍に向上させることができます。

尚、今回取得した特許技術の基礎技術にあたる、ビスホスホネートを用いて樹状細胞にガンマ・デルタT細胞の誘導能を発揮させる樹状細胞の調製方法は、既に欧州、韓国および日本で特許を取得しております^{※3}。

メディネットは、再生・細胞医療を推進する政府方針を追い風と捉え、本プラットフォーム技術を活用し、細胞加工受託業や細胞医療製品の開発を推進してまいります。

【特許情報】

登録番号: 5307944

発明の名称: 抗原提示細胞の活性化処理方法

権利者: 株式会社メディネット

対象国: 日本

※1:CTL

CTLとはCytotoxic T Lymphocyte(細胞傷害性Tリンパ球)の略。Tリンパ球の一種で宿主にとって異物になる細胞(がん細胞・ウイルス感染細胞・移植細胞など)を認識して殺傷する。

※2: 2012年8月17日リリース <http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1000631>

「抗腫瘍効果を高める「樹状細胞の活性化処理方法」に関する特許が欧州11カ国で成立」

2012年10月31日リリース <http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1012725>

「抗腫瘍効果を高める「樹状細胞の活性化処理方法」に関する特許が豪州で成立」

※3: 2012年3月19日リリース <http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=959847>

「がん治療に用いる「樹状細胞」に関する特許が欧州11カ国で成立」

2013年1月31日リリース <http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1031228>

「「樹状細胞」に関する特許が日本および韓国においても成立」

【株式会社メディネットについて】

会 社 名: 株式会社メディネット(証券コード:2370 東証マザーズ)

設 立: 1995年10月17日

代 表 者: 代表取締役社長 木村佳司

本 社 住 所: 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-3-12 新横浜スクエアビル 14F

電 話 番 号: 045-478-0041(本社代表)

従 業 員 数: 162名(2012年9月末)

事業所/CPC: 研究開発センター、西日本学術センター、九州学術センター、新横浜 CPC、
大阪 CPC、福岡 CPC、東大 CPC

事 業 内 容: 再生・細胞医療を中心とした、次世代医療技術の研究・開発、および医療機関
に対する技術、サービス等の提供。

お問い合わせ窓口 : 株式会社メディネット TR 推進部
パブリック・コミュニケーション・グループ 笠井
TEL:045-478-0048(直通) / E-mail:pc@medinet-inc.co.jp
